



郡
制

大隈

校



414
A 2610
3



第 章 總則

第 條 郡ノ廢置分合及郡界ノ變更ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

郡内ノ町村ヲ郡ノ區域ヨリ分離シテ市ト爲シ若ハ市ヲ變シテ郡内

ノ町村ト爲スハ其市會町村會ノ申請ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

郡界ニ當ル市町村ノ境界ヲ變更スルトキハ郡界モ亦自ラ變更スル

モノトス

第三章

第廿二條

本條ノ處分ニ付其財産處分ヲ要スルトキハ府縣參事會之ヲ議決ス
ヘシ但特ニ法律ノ規定アルモノハ此限ニ在ラス

第二章 郡會

第廿四條 郡會ハ郡内町村ニ於テ選舉シタル議員及大地主ニ於テ選舉

シタル議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第廿五條 町村ニ於テ選舉スヘキ郡會議員ノ數ハ每町村各一名トス但

每町村各一名トシ郡會議員ノ數二十名以上ニ及フトキハ二十名ヲ

以テ制限トス此場合ニ於テ議員配當法ハ首トシテ人口ヲ標準トシ

郡會ニ於テ議決シ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

若シ每町村各一名トシ郡會議員ノ數十名ニ滿タサルトキハ郡會ノ

議決ニ依リ府縣知事ノ認可ヲ經其數ヲ増シテ十名ニ至ルコトヲ得

其配當法ハ首トシテ人口ヲ標準トシ郡會ニ於テ議決シ府縣知事ノ

認可ヲ受クヘシ

本條議員配當法ハ郡内ノ町村數ニ増減アリタル場合ノ外初回ハ三

年間爾後ハ十二年以上ニ至リ町村ノ人口ニ著シキ増減アルニ非サ
レハ改正セサルモノトス

議員配當法ヲ改正スルトキハ議員全數ヲ改選スヘシ

第四條 一町村ニ於テ一名以上ノ議員ヲ選舉スルキハ其町村會之
ヲ選舉シ數町村ニ於テ一名若ハ一名以上ノ議員ヲ選舉スルキハ
其各町村會議員會同シテ之ヲ選舉スヘシ

第五條 町村組合ニシテ組合會ヲ設ケ其町村一切ノ事務ヲ共同處分

スルモノハ第一條乃至第六條ノ規定ニ關シテハ之ヲ一町村ト同視
シ其組合會ニ於テ議員選舉ヲ行フヘシ

第六條 大地主ハ町村ニ於テ選舉スヘキ議員定數ノ外其定數ノ三分

ノ一ヲ選舉スルモノトス若端數ヲ生スルトキハ之ヲ棄却スヘシ

選舉ヲ行フコトヲ得ヘキ大地主ニシテ其員數町村ニ於テ選舉スヘ

キ議員定數ノ三分ノ一以下ナルトキハ其大地主ハ選舉ニ依ラスシ
テ郡會議員タルモノトス但定期改選ノ期限内ニ於テハ大地主ノ員

數減シテ三分ノ一以下ニ至ルト雖解散ノ爲改選スル場合ヲ除クノ外ハ本項ヲ適用スルノ限ニ在ラス

第七條 大地主トハ郡内ニ於テ町村税ノ賦課ヲ受クル所有地ニシテ地價總計一萬圓以上ヲ有スル地主ヲ云フ

第十條 郡内町村公民ニシテ町村會ノ選舉ニ參與スルコトヲ得ヘキ者及大地主中自ラ選舉ニ加ハルコトヲ得ヘキ者ハ總テ郡會ノ被選權ヲ有ス

住居ヲ移シタル爲町村ノ公民權ヲ失ヒタル者其住居同郡内ニ在リ且他ノ要件ヲ失ハサルトキハ仍郡會ノ被選權ヲ有ス
左ニ掲クル者ハ選舉ニ係ルト否トヲ問ハス郡會議員タルコトヲ得ス

- 一 所屬府東京府ハ警視廳トモ縣並ニ其郡ノ官吏
- 二 其郡ノ有給吏員
- 三 神官及諸宗ノ僧侶又ハ教師

四 小學校教員

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選ニ應シ又ハ第六條第二項ノ權利ヲ行ハ
ントスルトキハ本屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

第九條^十 大地主ニシテ選舉權ヲ有スルハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有ス
ル男子ニ限ル

年齢二十歳未滿ノ者及治産ノ禁ヲ受ケタル者ハ選舉權ヲ有セサル
モノトス

大地主ノ選舉權ハ身代限處分中又ハ租稅滯納處分中又ハ公權ノ剝
奪若ハ停止ヲ附加スヘキ重輕罪ノ爲裁判上ノ訊問若ハ勾留中ハ之

ヲ停止ス

本條ノ規定ハ選舉ニ依ラスシテ郡會議員タル者ニモ適用ス

第十條^二 選舉權ヲ有スル大地主ハ代人ヲ以テ選舉ヲ行フコトヲ得
陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ代人ヲ以テスルニ非サレハ選舉ヲ行フ
コトヲ得ス

帝國臣民

代人ハ内國人ニシテ公權ヲ有シ町村制ニ定メタル獨立ノ男子ニ限
ル但一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀ヲ以
テ代理ノ證トスヘシ

本條ノ規定ハ第六條第二項ノ權利ヲ行フ場合ニモ適用スルモノト
ス但其代人ハ郡會ニ被選權ヲ有スル者ニシテ郡會議員タラサル者
ニ限ル

第十條 郡會議員ハ名譽職トス

町村ニ於テ選舉シタル議員ノ任期ハ六年トシ每三年其半數ヲ改選
ス若其員數二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム
初回ニ於テ解任スヘキ者ハ郡會議長郡會ニ於テ自ラ抽籤シテ之ヲ
定ム

大地主ニ於テ選舉シタル議員ノ任期ハ三年トシ每三年其全數ヲ改
選ス
解任ノ議員ハ再選セラルコトヲ得

第十二條^四 議員中闕員アルトキハ遅クトモ六箇月以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第十三條^五 郡長ハ郡會議員改選前選舉權アル大地主ノ名簿ヲ製シ之

ニ其資格ヲ記載シ其氏名ヲ告示スヘシ

關係者ニ於テ大地主名簿ノ正否ニ關シ異議アルトキハ告示後二十

一日以内ニ郡長ニ申立テ其郡長ノ裁決ニ不服ナル者ハ府縣參事會

ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服ナル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

大地主名簿ニ登録セラレサル者ハ選舉ニ參與シ及第^六條第二項ニ

依リ郡會議員タルコトヲ得ス

大地主名簿ハ次ノ定期改選前ニ行フヘキ補闕選舉ニモ亦適用スルモノトス但大地主ノ資格ヲ失ヒ又ハ選舉權ノ要件ヲ失ヒタル者ハ之ヲ削除シ其氏名ヲ告示スヘシ其處分ニ對シ異議アルトキハ本條

第二項ノ例ニ依ル

定期改選ノ期限内新ニ選舉權ヲ得又ハ選舉ニ依ラスシテ郡會議員タルノ權利ヲ得タル者ハ解散ノ爲改選スル場合ヲ除ク外期限内ニ於テ其名簿ニ登録セサルモノトス

第十四條 郡會議員ノ選舉ハ郡長ノ告示ニ依リ之ヲ行フヘシ其告示ハ遅クトモ選舉ノ日ヨリ七日前ニ之ヲ發スヘシ

第十五條 選舉ノ順序ハ先ツ町村之ヲ行ヒ次ニ大地主之ヲ行フヘシ

町村ニ於テ行フ選舉ハ町村制第四十六條ノ規定ニ從フヘシ但數町村會議員會同シテ行フ選舉ハ郡長又ハ郡長ノ指定スル町村長ヲ議長トシテ之ヲ行フヘシ

大地主ニ於テ行フ選舉ハ郡長ヲ選舉會長トシテ之ヲ行フヘシ

第十六條 大地主ニ於テ選舉ヲ行フトキハ左ノ規定ニ依ルヘシ

- 一 郡長ハ遅クトモ選舉ノ日ヨリ七日前選舉人ニ招集狀ヲ發シ選舉ノ場所日時ヲ告知スヘシ

- 二 選舉掛ハ選舉會長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ選任シタル立會人二名若ハ四名及選舉會長ヲ以テ之ヲ組織ス
 - 選舉會長ハ選舉會ヲ開閉シ其會場ノ取締ニ任ス
 - 三 選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タリトモ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス
 - 四 投票ハ選舉人自ラ選舉會長ノ面前ニ於テ之ヲ投票函ニ投入ス
- 投票ハ匿名トス

五 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 記載セル人名ノ讀ミ難キモノ
 - 二 被選人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
 - 三 被選權ナキ人名ヲ記載スルモノ
 - 四 被選人氏名ノ外他ノ文字ヲ記入スルモノ但爵位職業身分住所又ハ敬稱ハ此限ニ在ラス
- 本項一ヨリ三ニ至ルノ場合ニ於テ票中他ニ列記ノ被選人ニ付

テハ仍其効アリトス

投票ノ受理并ニ効力ニ關スル事項ハ選舉掛假ニ之ヲ議決ス可

否同數ナルトキハ選舉會長之ヲ決ス

六 有効投票ノ多數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キモノ

ハ年長者ヲ取り年齡相同キトキハ選舉會長自ラ抽籤シテ其當

選ヲ定ム

七 選舉掛ハ選舉録ヲ製シテ選舉ノ願末ヲ記録シ選舉ヲ終リタル

後之ヲ朗讀シテ署名スヘシ

八 投票ハ選舉ノ効力確定スル迄之ヲ保存スヘシ

第十七條 選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ町村會ニ於テ行フ選

舉ニ在テハ町村長數町村會議員會同シテ行フ選舉及大地主ニ於テ

行フ選舉ニ在テハ選舉會長直ニ當選人ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長

ニ報告スヘシ

當選人當選ノ通知ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ其當選ヲ承諾スル

ヤ否ヲ郡長ニ届出ヘシ

一人ニシテ數箇所ノ選舉ニ當リタルトキハ同期限内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコト及選舉ニ依ラスシテ郡會議員タルヘキ大地主ニシテ町村ノ選舉ニ當選シタルトキハ其選舉ニ應スルコト又ハ應セサルコトヲ同期限内ニ郡長ニ届出ヘシ

前二項ノ届出ヲ其期限内ニ爲サ、ルトキハ選舉ヲ辭スル者ト視做スヘシ

町村ノ選舉ニ應スル大地主ハ**第六條**第二項ノ權利ヲ有スル者ト雖

二重ニ其權ヲ行フコトヲ得サルモノトス

第十八條 議員ノ當選ヲ辭シ又ハ承諾ノ届出ヲ爲サ、ル者アルトキ

ハ郡長ハ七日以内ニ更ニ選舉ヲ行ヒ又ハ町村長ニ命シテ更ニ選舉

ヲ行ハシムヘシ

第十九條 當選人確定シタルトキハ郡長ハ**當選證書**ヲ付與シ及管内

ニ告示スヘシ

第二十一條 選舉人選舉ノ効力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ郡長ニ申立ツルコトヲ得

第二十二條 當選人其當選ノ際資格ノ要件ヲ有セザリシコト發覺スルトキハ其當選ハ無効トス

當選人當選後資格ノ要件ヲ失フトキハ議員ノ職ヲ失フモノトス

第二十三條 郡會ニ於テ其議員中議員ノ資格ヲ有セサル者アルコトヲ發見スルトキハ其議決ヲ以テ之ヲ郡長ニ通知スヘシ

第二十四條 郡會議員被選權ノ有無及選舉ノ効力ハ郡參事會之ヲ裁

決ス

郡參事會ノ裁決ニ不服ナル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服ナル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ訴願及出訴ノ爲裁決ノ執行ヲ停止セス但判決確定スルニ非サレハ更ニ選舉ヲ爲スコトヲ得ス

第二十五條 郡會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

- 一 郡ノ歳入出豫算ヲ定ムル事
 - 二 決算報告ヲ認定スル事
 - 三 郡有不動産ノ賣買交換譲渡讓受并ニ質入書入ノ事
 - 四 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ
及權利ノ棄却ヲ爲ス事
 - 五 郡有財産ノ管理及營造物ノ維持方法ヲ定ムル事
- 其他法律命令ニ依リ郡會ノ權限ニ屬スル事項ヲ議決ス

第二十五條 郡會ハ其權限ニ屬スル事件ヲ郡參事會ニ委任スルコト
ヲ得

第二十六條 郡會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述スヘシ
郡會ハ其郡ノ全部又ハ一部ノ公益ニ關スル事件ニ付郡長又ハ府縣
知事ニ建議スルコトヲ得

第二十七條 郡會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委囑ヲ受クヘカラサルモ
ノトス

第三十八條 郡會ハ郡長ヲ以テ議長トス

郡會ハ改選後ノ初會ニ於テ議長代理者一名ヲ互選スヘシ

議長及議長代理者共ニ故障アルトキハ臨時議長代理ヲ互選スヘシ

第三十九條 郡長若ハ特ニ郡長ノ委任ヲ受ケタル郡吏員ハ郡會ノ議

事ニ參與スルコトヲ得但議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ何時ニテモ之ヲ許

スヘシ

第三十條 郡會ハ毎年一回通常會ヲ開クヘシ其他必要アルトキハ其

事件ニ限リ臨時會ヲ開クコトヲ得

郡會ハ郡長之ヲ招集ス若議員三分ノ一以上ニ於テ臨時ノ招集ヲ請

求スルトキハ之ヲ招集スヘシ招集ハ開會ノ日ヨリ十四日前迄ニ告

示スヘシ但急施ヲ要スル場合ハ此限ニ在ラス

郡會ハ郡長之ヲ開閉ス

第三十條 郡會ハ現任議員半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開

キ議決ヲ爲スコトヲ得ス但同一ノ議事ニ付開會再回ニ至ルモ議員
猶其半數ニ滿タサルトキハ此限ニ在ラス

第三十二條^四 郡會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ
決スル所ニ依ル

第三十三條^五 議員ハ自己及其父母兄弟若ハ妻子ノ一身上ニ關スル事
件ニ付テハ會議ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ郡會ノ議事ニ參與シ及議
決ニ加ハルコトヲ得ス

第三十四條^六 郡會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ第十條四ヨリ六ニ至ル
規定ニ依ルヘシ

第三十五條^七 郡會ノ會議ハ公開ス但左ノ場合ハ此限ニ在ラス
一 郡長ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ
二 議長又ハ議員三名以上ノ發議ニ由リ傍聽禁止ヲ可決シタルト

キ

議長又ハ議員ノ發議ハ討論ヲ用井スシテ其可否ヲ決スヘシ

第三十八條 議長ハ議事ノ順序ヲ定メ會議及選舉ノ事ヲ總理シ其日
ノ會議ヲ開閉シ并ニ延會シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第三十九條 議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用井及人身上誹議ニ涉ル言論
ヲ爲スコトヲ得ス

第四十條 會議中此法律若ハ議事規則ニ違ヒ其他議場ノ秩序ヲ紊
ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ又ハ制止シ又ハ發言ヲ取消サ
シム命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止

シ又ハ議場ノ外ニ退去セシムヘシ若強抗ニ涉ル者アルトキハ警察
官ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ
之ヲ閉ツルコトヲ得

第四十一條 會議ノ傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其他議事
ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ若命ニ從ハサルトキ
ハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官ノ處分ヲ求ムルコ

トヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシムルコトヲ得

第四十條^二 郡長若ハ特ニ其委任ヲ受ケタル吏員及議員ハ議場ノ秩序

ヲ紊リ又ハ議場ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ノ注意ヲ喚起スル

コトヲ得

第四十條^三 郡會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ掌理セシム

書記ハ議長之ヲ選任ス但郡吏員ヲシテ之ヲ兼シムルコトヲ得

第四十條^四 郡會ハ書記ヲシテ議事録ヲ製シ議決及選舉ノ顛末并ニ

出席議員ノ氏名ヲ記録セシムヘシ議事録ハ議長及議員二名以上之

ニ署名スヘシ其議員ハ會議ノ前郡會ニ於テ豫メ之ヲ定メ議事録中

ニ其氏名ヲ記載シ置クヘシ

第四十條^五 郡會ハ議事規則及傍聽人取締規則ヲ設ケ府縣知事ノ認

可ヲ受ケテ之ヲ施行スヘシ

第三章 郡參事會、吏員及委員

第四十四條^六 郡ニ郡參事會ヲ置キ郡長及名譽職參事會員四名ヲ以テ之ヲ組織ス

名譽職參事會員中三名ハ郡會ニ於テ其議員中ヨリ互選シ一名ハ府縣知事ニ於テ郡會議員若ハ郡内町村ノ公民中ヨリ選任スヘシ

第四十五條^七 郡參事會ハ郡長ヲ以テ議長トス議長故障アルトキハ會員ニ於テ臨時議長代理ヲ互選スヘシ

第四十六條^八 郡會ハ每通常會ニ於テ郡會ノ互選シタル名譽職參事會員ノ補充員三名ヲ互選シ其名譽職參事會員ノ闕員アルトキハ郡長ニ於テ補充員中當選ノ^{投票多數}順次ニ依リ之ヲ補充スヘシ但其既ニ補充シタル者ハ前任者ノ任期中在職スルモノトス

第四十七條^九 名譽職參事會員ノ任期ハ議員ノ任期ニ從フ但任期滿限ノ後ト雖後任者就職ノ日迄在職スルモノトス
郡會ノ互選シタル名譽職參事會員ハ補充員ヲ以テ其闕員ヲ補充シ

仍闕員ヲ生シタル場合ニ於テハ二箇月以内ニ臨時其選舉ヲ行フヘシ

第四十八條^{五十} 郡參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ郡長ニ於テ郡會ヲ招集スルノ暇ナシト認ルトキ郡會ニ代テ議決ヲ爲ス事

- 三 郡會ノ定メタル方法ノ範圍内ニ於テ郡有財産ノ管理又ハ營造物ノ維持ニ關シ必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事
- 四 郡ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ノ次第順序其他必要ナル事件ニ付議決ヲ爲ス事
- 五 郡長其他官廳ノ諮問ニ對シ意見ヲ述フル事
- 六 郡長ヨリ發スル郡會議案ニ付郡長ニ意見ヲ述ヘ及會議ニ報告スル事

七 臨時必要アルトキ郡ノ出納ヲ検査スル事

其他法律命令ニ依リ郡参事會ノ權限ニ屬スル事務ヲ處理ス

第四十九條 郡参事會ハ郡長之ヲ招集ス

現任會員半數以上ノ請求アルトキハ郡長ハ必郡参事會ヲ招集スヘ

シ

第五十條 郡参事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第五十一條 郡参事會ハ議長又ハ其代理者及現任會員半數以上出席

スルニ非サレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

郡参事會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル

所ニ依ル

議決ノ事件ハ之ヲ議事録ニ登記シ議長及名譽職参事會員二名以上

之ニ署名スヘシ

第五十二條 郡参事會員ハ自己及其父母兄弟若ハ妻子ノ一身上ニ關

スル事件ニ付郡参事會ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ規定ノ爲出席ノ參事會員減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サル
 トキハ郡長ハ補充員ヲ以テ臨時之ニ充テ仍其數ヲ得サルトキハ郡
 會議員ニシテ該事件ニ關係ナキ者ノ内ヨリ臨時ニ指名シ名譽職參
 事會員ノ不足ヲ補充シテ第四十四條^六ノ定數ニ滿タシムヘシ

第五十條^五 町村制ノ規定ニ依リ郡參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシ
 テ二郡以上ノ町村ニ交渉スルモノアルトキハ其郡長ノ具狀ニ依リ
 府縣知事ニ於テ其事件ヲ管理スヘキ郡參事會ヲ指定スヘシ二府縣

以上ノ町村ニ交渉スルモノアルトキハ其府縣知事ノ具狀ニ依リ内
 務大臣ニ於テ之ヲ指定スヘシ

第五十四條^六 郡長ハ郡會及郡參事會ノ議決ヲ施行シ及郡有ノ財産及
 營造物ヲ管理シ並ニ郡ノ費用ヲ以テ支辨スル工事ヲ執行ス
 郡ニ於テ他人ニ對シ義務ヲ負擔スヘキ證書及委任狀ニハ郡長ノ外
 名譽職參事會員二名以上之ニ署名捺印スヘシ

前項ノ文書中郡會又ハ參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其議決ヲ

經タルモノハ其旨ヲ記入スヘシ

第五十五條^七 郡會ニ於テ名譽職參事會員ヲ選舉セス又ハ參事會成立

セス又ハ招集ニ應セサルトキハ參事會成立シ又ハ招集ニ應スル迄

郡長ハ郡參事會ノ權限ニ屬スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得

非常事變ニ際シ郡參事會ヲ招集スルノ暇ナク又ハ名譽職參事會員

ノ出席半數以上ニ至ラサルトキハ郡長ハ郡參事會ノ權限ニ屬スル

事件ヲ專決處分スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次回ノ郡會會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第五十六條^八 郡ハ府縣稅ヲ以テ支辨スル郡吏員ノ外郡會ノ議決ニ依

リ郡ノ費用ヲ以テ郡有財產又ハ營造物ノ管理若ハ土木工事ニ必要

ナル有給郡吏員ヲ置クコトヲ得但其郡吏員ハ他ノ郡吏員ニ準シ府

縣知事ニ於テ之ヲ任免監督ス

前項郡吏員ノ給料手當退隱料等ハ郡會ノ議決スル所ニ依ル其身元

保證金ヲ要スルトキ其金額ヲ定ムルモ亦同シ

第五十七條^九 郡長ハ郡會ノ議決ヲ經テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置キ郡事務ノ一部ヲ調査セシメ又ハ郡有財産及營造物ノ一部ヲ管理セシムルコトヲ得

委員ハ郡會ニ於テ之ヲ選舉ス其選舉ノ方法及任期ハ郡會ノ議決スル所ニ依ル

委員ハ名譽職トス

第四章 郡ノ會計

第五十八條 郡内總町村ノ共有ニ屬スル財産及營造物ハ郡内總町村

ノ聯合又ハ組合ヲ以テ設立セル小學校ヲ除ク外此法律施行ノ日

キ郡ノ所有ニ歸シ其權利義務トモ同時ニ郡ニ移ルモノトス

第五十九條^六 郡有財産及營造物管理ノ費用郡會郡參事會及委員ノ費

用第五十五條^七ノ郡吏員ノ給料退隱料其他諸給與及法律勅令ニ依リ

郡ノ負擔ト定ムル事件ノ費用ハ其郡ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

第六十條^一 郡會議員名譽職參事會員及委員ニハ旅費及日當ヲ給スル

コトヲ得但日當ハ一日五十錢ヲ超ユルコトヲ得ス

第六十二條 郡ノ支出ニ充ツル費用ハ郡有財産ヨリ生スル收入其他

雜收入ヲ以テ充ツルモノ、外ハ郡内各町村ニ分賦ス各町村分賦ノ

割合ハ各町村前年度ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ據ル

各町村分賦ノ額ハ各町村ニ於テ之ヲ町村ノ豫算ニ編入シ町村稅ト

シテ徵收シ其總額ヲ郡金庫ニ納ムヘシ

第六十三條 郡内ノ或ル部分ニ對シ特ニ利益アル土木事業ヲ起スト

キハ郡會ノ議決ニ依リ該部分ノ町村ニ對シ通常分賦額ノ外其利益
ノ厚薄ニ應シ特ニ夫役現品ヲ增課スルコトヲ得

第六十四條 郡ハ天災事變ノ爲已ムヲ得サル支出又ハ其郡ノ永久ノ

利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歲入ヲ増加スルトキハ

郡内町村ノ負擔ニ堪ヘサルノ場合ニ限リ郡會ノ議決ニ依リ本債ヲ

起スコトヲ得

郡會ニ於テ本債ヲ起スノ議決ヲ爲ストキハ併セテ起債ノ方法利息

ノ定率及償還ノ方法ヲ定ムヘシ

郡公債償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ年々ノ償還歩合ヲ定メ起債ノ

時ヨリ三十年以内ニ還了スヘシ

歳入出豫算内ノ支出ヲ爲スカ爲必要ナル一時ノ借入金ニシテ其年

度内ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノハ本條ノ例ニ依ルノ限ニ在ラス

但郡参事會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第六十四條 郡長ハ毎年其翌年度ニ係ル歳入出豫算ヲ調製スヘシ但

郡ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ
豫算ハ郡會ノ議決ニ付スルノ前郡参事會ノ審査ニ付スヘシ若郡長
ト郡参事會ト意見ヲ異ニスルトキハ郡長ハ参事會ノ意見ヲ豫算ニ
添ヘ郡會ニ提出スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ニ付テモ亦同シ
内務大臣ハ省令ヲ以テ豫算調製ノ式ヲ定メ并ニ費目流用ニ關スル
規定ヲ設クルコトヲ得

第六十五條 豫算ハ毎年郡會ノ議決ヲ取り之ヲ府縣知事ニ報告シ并

ニ郡慣行ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算
ヲ議決シタル場合ニ於テモ亦同シ

郡ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ
又ハ數年ヲ期シテ其費用ヲ支出スヘキモノハ郡會ノ議決ヲ以テ其
年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

豫算ヲ郡會ニ提出スルトキハ郡長ハ併セテ其郡有財産表ヲ提出ス
ヘシ

第六十七條 歲入出豫算中ニ豫備費ヲ設クヘシ豫備費ハ郡長ニ於テ

郡參事會ノ議決ヲ經テ已ムヲ得サル豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ

支出ニ充ツルコトヲ得但郡會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得

ス

第六十七條 郡ノ收支命令ハ郡長之ヲ發スヘシ

第六十八條 會計事務ヲ管理スル郡役所會計吏ハ前條ノ命令アルニ
非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス及其命令アルモ支出ノ豫算ナキカ

又ハ豫備費支出及費目流用ノ規定ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコ
トヲ得ス

第七十九條 郡ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ及毎年少クトモ一

回臨時検査ヲ爲スヘシ検査ハ郡長又ハ其代理者之ヲ爲シ臨時検査

ニハ郡參事會員一名以上ノ立會ヲ要ス

第七十條 決算ハ會計事務ヲ管理スル郡役所會計吏ニ於テ會計年度

後三箇月以内ニ之ヲ郡長ニ提出シ郡長ハ郡參事會ヲシテ之ヲ検査

セシメ次回ノ通常郡會ノ認定ニ付スヘシ

決算報告書并ニ之ニ關スル郡會ノ議決ハ郡長ヨリ之ヲ府縣知事ニ

報告シ并ニ決算ハ郡慣行ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ

第五章 監督

第七十條 郡ノ行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ

於テ内務大臣之ヲ監督ス

第七十一條 此法律中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外郡ノ行政ニ關ス

ル府縣知事又ハ府縣參事會ノ處分若ハ裁決ニ不服ナル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

郡ノ行政ニ關スル訴願ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

此法律ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事ノ處分又ハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴セントスル者ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ出訴スヘシ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

訴願及訴訟ヲ提出スルトキハ處分又ハ裁決ノ執行ヲ停止ス但此法律中別ニ規定アルモノ又ハ當該官廳ニ於テ其停止ノ爲公益ニ害アリト認ムルトキハ此限ニ在ラス

第七十條 監督官廳ハ郡行政ノ法律命令ニ背戻セサルヤ其事務錯亂滯セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之カ爲行政事務ニ關シ

テ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ并ニ實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

第七十四條 郡會又ハ郡參事會ノ議決其權限ヲ越エ法律命令ニ背キ

又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督

官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシ

メ猶其議決ヲ更メサルトキハ直ニ府縣知事ノ裁決ヲ請フヘシ其權

限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合

ニ於テ府縣知事ノ裁決ニ不服ナル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七十五條 郡會又ハ郡參事會ニ於テ法律命令又ハ慣行ニ依テ郡ノ

負擔ニ屬スル行政上又ハ公益上必要ノ費用ヲ否決シ又ハ議決スト

雖必要ノ給需ヲ缺クトキハ郡長ハ府縣知事ニ具狀シ其指揮ヲ請ヒ

原案ヲ執行スルコトヲ得但府縣知事ハ原案金額ヲ不相當ト認ムル

トキハ原案金額以内ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第七十六條^七 郡會招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ郡長ハ府縣知事ノ指揮ヲ請ヒ專決處分スルコトヲ得

前項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第七十七條^八 郡會又ハ郡參事會ニ於テ其議決スヘキ議案ヲ議決セザ

ル場合ニ於テ其事緊急ヲ要スルトキハ郡長ハ府縣知事ニ具狀シ其

指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但其議決セサル議案歲入出豫

算ニ係リ府縣知事ニ於テ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金

額以內ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第七十八條^九 府縣知事ハ郡ノ歲入出豫算中不適當ノ支出ト認ムル費

目アルトキハ之ヲ削除シ及其郡ノ資力ニ比シ不急ノ支出ト認ムル

費目アルトキハ之ヲ削除若ハ減殺スルコトヲ得此場合ニ於テハ收

入科目中ニ就キ之ニ相當スル收入額ヲ減殺スヘシ

第七十九條^十 郡會ハ内務大臣之ヲ解散セシムルコトヲ得此場合ニ於

テハ三箇月以內ニ議員ヲ改選スヘシ

前項解散ノ場合ニ於テハ各舉職參事會員モ亦解職スルモノトス
 郡委員ハ郡會ノ解散ニ依リ解職スルノ限ニ在ラス但改選郡會ノ議
 決ヲ以テ之ヲ改選スルコトヲ得
 郡會解散ノ後改選結了ニ至ル迄ノ間急施ヲ要スル事件アルトキハ
 郡長之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第八十條 左ノ事件ニ關スル郡會ノ議決ハ内務大臣及大藏大臣ノ認

可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 新ニ郡ノ本債ヲ起シ又ハ其額ヲ増加シ及利息ノ定率若ハ償還
 ノ方法ヲ變更スル事

第八十條 左ノ事件ニ關スル郡會ノ議決ハ府縣知事ノ認可ヲ受ク
 ルコトヲ要ス

- 一 郡有不動産ノ賣却讓渡并ニ質入書入ノ事
- 二 第六十條ニ依リ郡内ノ或ル部分ニ對シ特ニ夫役現品ヲ増課

スル事

三 第六十五條第二項ニ依リ繼續費ヲ定メ及其年期内ニ議決ヲ變更スル事

第六章 附則

第八十三條

第八十四條 府縣參事會及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間此法律ニ依リ府縣參事會ニ屬スル職務ハ府縣知事、行政裁判所ニ屬スル職務ハ現行ノ行政裁判手續ニ從ヒ控訴院ニ於テ之ヲ行フヘシ

第八十三條 郡内終町村ノ共有ニ屬スル財産及官
置物ハ郡内終町村ノ聯合又ハ組合ヲ以テ設立セ
小学校ヲ除ク外此法律施行ノ日ヨリ郡ノ所有
ニ歸シ其權利義務トモ同時ニ郡ニ移ルモノトス

第八十五條 島司ヲ置ケル島嶼ニ於テハ別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ム

第八十四條 此法律ニ依リ初メテ議員ヲ選舉スルニ付郡會及郡參事

會ノ職務ハ郡長ニ於テ之ヲ行フヘシ

第八十五條 町村制施行ノ爲ニ定ムル直接税ノ種類ハ此法律ノ施行

ニ付テモ亦適用ス

第八十條 此法律施行ノ後ハ町村制第二百二十六條第三ニ定ムル附
加税徵收ノ許可ハ地租七分^八半^五(十四分ノ三)ヲ超過スルトキ之ヲ

要スルモノトス

第八十七條^九 此法律ハ町村制ヲ施行シタル各府縣ニ施行スルモノト

ス其施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第八十八條^{九十} 明治十一年七月第十七號布告郡區町村編制法其他此法

律ニ抵觸スル成規ハ^{此法律}本制施行ノ地ニ於テ其施行ノ時期ヨリ總テ之

ヲ廢止ス

第八十九條^{九十一} 内務大臣ハ此法律施行ノ責ニ任シ之カ爲必要ナル命令

ヲ發布スヘシ



